



新潟市ごみ減量
推進キャラクター
「サイチョウ」

新潟市の資源とごみの情報紙

サイチョウ PRESS

vol. 59
令和2年8月16日

3Rが進むまち
リデュース! リユース! リサイクル!

【発行者】新潟市環境部循環社会推進課
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL: 025-226-1391
FAX: 025-230-0660

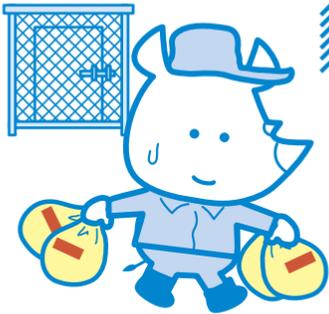
サイチョウプレス



TOPIC

「ごみ収集」という仕事

ごみ集積場の数
(市全体)
15,726か所



コロナ禍の中でも地域に根ざし、暮らしを支える人たち

コロナ禍で社会や生活が大きく変わる中、
廃棄物業務は変わらず暮らしを支えています。

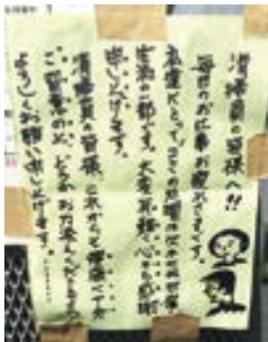
今回は、廃棄物業務の最前線で働く「ごみ収集」の仕事について、
株式会社 北地区清総 代表取締役 水野正夫さんにお尋ねしました。



株式会社 北地区清総
代表取締役
水野 正夫さん

Q1 新型コロナウイルス感染症が流行していますが、業務内容や心構えなどにどのような影響がありましたか？

日々排出されるごみ袋の中には、使用済みのマスクやティッシュなども多く含まれます。それらがごみ袋からはみ出し、ごみ集積場内に散らばっているケースがしばしば見られます。私たち収集事業者は、「社会基盤を支える重要な仕事」とすると同時に、「感染症のリスクが非常に高い仕事」でもあります。我が社では感染症対策として、社員全員でそうしたリスクがある事を再確認し、衛生意識を高めることから始めました。朝礼など社員の集まる習慣を可能な限り減らし、収集業務中は車内に用意した消毒薬で手指を随時消毒。帰



▲集積場に貼られた感謝の手紙

社の際には靴底も消毒し、感染防止を徹底しています。

業務上の負担が増えた反面、嬉しいこともありました。それは、市民の皆さんから手紙などで感謝の言葉をいただく機会が増えたことです。こうした声をいただけることは大変光栄ですし、励みになっています。

Q2 収集員の皆さんの感染リスクを下げるために、ごみ出しの際に気をつけることはありますか？

まずは袋をしっかりと縛り、マスクやティッシュなどが袋の外にはみ出さないようにしていただきたいです。さらに、その袋を縛る前に、中の空気を抜いていただくと助かります。

袋に空気が詰まった状態で出されると、収集の過程で袋が破れた際に、中身が飛散してしまう恐れがあるからです。



Q3 将来的に展開したい業務や、目指す企業像はありますか？

ごみ収集車は、日々同じ時間帯に一定のルートを走っています。そして全車両にドライブレコーダーを搭載しているのも、収集業務をしながら地域の安全パトロールも行えないかと考えています。そうしたサービスを積み重ねることで、地域の皆さんから親しまれ、愛される企業になっていきたいと思っています。私たちの業務は、決して華やかに人目を引くようなものではありません。しかし、雨の日も大雪の日も、必ず稼働して街中のごみを収集する、非常に大事な、やりがいのある業務だと思います。これからも「人々の暮らしを支える必要不可欠な仕事である」という事を、日々の業務を通して伝えて行ければと思っています。



▲最新の収集車。「地域の小学校からデザインを募集し、収集車をラッピングする」という夢もあるそうです。

問い合わせ | 廃棄物対策課 ☎025-226-1403

危険

電池類が取り外せない製品は「特定5品目」へ

電池類が入ったまま「燃やさないごみ」に出してしまうと、処理過程の衝撃でショートし、発火につながります。
電池類が取り外せない製品は、「特定5品目」に出しましょう。

市のホームページも併せてご覧ください



① 付属品やケーブル類は取り外す



電気シェーバー

電動歯ブラシ

モバイルバッテリー

② それぞれ分別して出してください



特定5品目

※電池類が中に入っています



燃やすごみ

(プラスチック類など)



燃やさないごみ

(金属類など)